Ⅳ　地域保健課・こども家庭課事業実績

１　健康づくり推進事業

（１）地区における健康づくり活動

健康づくりの推進を図る人材育成として、昭和 57 年に地域の健康づくりボランティアとして「健康づくり推進員」の育成事業を開始し、平成 15 年にボランティア活動から、委嘱に変え、健康推進員制度を創設した。

健康推進員は町内会・区長からの推薦方式をとり、市が業務委任を行い、2 年間の任期の中で、保健師が抽出した地区ごとの健康課題の解決に向け協働し、重点テーマを決めて保健活動を実施してきた。しかしながら、地区全体の健康づくりの取組には至らず、町内会推薦の維持が困難になったこと、まちづくり協議会を中心としたまちづくり活動が地区の課題に取り組む方向に変換しつつあることなどから、令和 4 年度に健康推進員事業の見直しをした。

令和 5 年度から新たに地区担当保健師が地区まちづくり協議会と連携し、健康課題の共有や解決に向けての取り組みについて話し合い、健康づくり活動を協働していくこととした。

目　　的：地区まちづくり協議会が、地区における健康課題を解決できるよう、地区担当保健師が統計情報や地区活動・保健サービス等の提供時に把握したこと等に基づき捉えた健康課題を明らかにし、地区まちづくり協議会と共有、解決に向けて連携することにより効果的に健康づくりの推進を行う。

内　　容：地区担当保健師が地区における健康課題をとらえ、地区まちづくり協議会と情報共有し、協働で地区における健康づくり活動を行う。

実施状況：

方法	実施地区	実施内容
ア　地区担当保健師と地区まちづくり協議会のつなぎ役の設置	26 地区	健康スポーツ部会、総務部会、女性の会、福祉部門長、福祉健康委員会、体育保健部、福祉推進会、ふれあい部会、事務局、代表委員会、福祉部、まちづくり協議会会長、区長、まちづくりセンター長等
イ　地区状況や地区健康課題を作成し、まちづくり協議会の部会等において説明	26 地区	地区まちづくり協議会理事会、地区まちづくり協議会役員会、町内会長会議、健康スポーツ部会、体育部、生涯学習部会、福祉推進会、青少年育成委員会、民生委員児童委員協議会、地区有償ボランティア、ふれあいいきいきサロン等
ウ　まちづくり協議会と健康課題について協議	21 地区	
エ　まちづくり協議会と協働の健康づくり活動の企画・実施	26 地区	・健康に関する講演会の実施　3 地区 ・大腸がん予防啓発ちらしの全戸配布　2 地区 ・地区概況等を掲載した健康だよりの全戸配布　3 地区 ・地区まちづくり協議会のホームページやインスタグラムに健康課題の記事掲載　1 地区 ・まちづくりセンターに健康課題の掲示　1 地区 ・女性の会において勉強会実施　1 地区 ・健康づくりをすすめる団体と協働で活動を企画・実施　2 地区 ・文化祭にて健康測定・啓発活動の実施　19 地区 ・地区イベント（スポーツフェスティバル、各種イベント等）にて健康測定・啓発活動の実施　11 地区 ・公会堂等でまちの保健室の開催　6 地区

（２）健康広げ隊の活動

目　　的：健康推進員の経験や人とのつながりを生かして、地区保健活動への協力・支援を行い、主体的なボランティア活動等を実施することで、自身の健康と生きがいづくりにつなげ、更には健康な地域づくりを目指す。

人　　数：54 人（令和 6 年 3 月 31 日現在）

内　　容：地区活動での準備片付け・受付、インボディ、血管年齢、内転筋力、握力等の測定及び介助

活動状況：　　（単位：回・人）

内　容	回　数	人　数
連絡会	1	31
地区活動	39	延べ 88

（３）職域への健康対策支援事業

目　　的：「健康ふじ 21 計画Ⅲ」に基づき、働き盛り世代の検診受診率向上や生活習慣病予防を図る。

ア　ふじ職域健康リーダーの設置推進・育成

目　　的：事業所にふじ職域健康リーダーを設置し、地域職域保健の連携を強化する。

設 置 数：149 事業所(令和 6 年 3 月 31 日現在)

ふじ職域健康リーダー新規設置事業所への支援：12 事業所

（電話：1 事業所、訪問：11 事業所）

ふじ職域健康リーダー継続事業所への電話支援：136 事業所

情報提供：生活習慣病等の健康情報を郵送　年 1 回

イ　事業所での健康講座

目　　的:事業所の依頼等により健康講話を行い、勤労者の健康増進・生活習慣病予防等の疾病予防を図る。

実施状況：　　（単位：人）

実施事業所	テーマ	参加者数
中日本ハイウェイパトロール東京（株）	生活習慣病予防のための運動・食事について	24
有限会社ふるいや旅館　ランジェラ	女性の健康（骨・がん・更年期）	9
富士市商工会議所第三月曜会	生活習慣病予防について	34
富士市商工会議所女性会	女性の健康（骨・がん・更年期）	11
合　計		78

ウ　事業所での健康相談

目　　的：勤労者世代の健康対策として、事業所従業員を対象に生活習慣をふり返るきっかけを提供し、健康行動を支援する。

内　　容：事業所内で簡易健康チェックの実施
インボディ測定、骨密度測定、血管年齢測定等と結果説明および保健指導

実施状況：　　（単位：人）

実施事業所	参加者数	実施事業所	参加者数
静岡ガス株式会社富士支社	30	東芝キヤリア株式会社富士事業所	101
株式会社キャリアドライブふじさん Bu-Bu 保育園	8	株式会社富士クリーンサービス	15
株式会社アクア富士天間	21	エコフィールド株式会社	14
松本工業株式会社	32	愛心援助サービス株式会社	19
株式会社伊藤電気	12	株式会社アイワ	5
クミアイ化学工業株式会社	24	合　計	281

（４）野菜摂取普及啓発活動

目　　的：バランスの良い食習慣の確立を目指し、一般市民を対象に不足しがちな野菜摂取や、バランスの良い食生活に関する普及啓発を行う。

内　　容：野菜レシピ・チラシの配布・配信と野菜レシピの新聞掲載による啓発活動

実施状況：　　（単位：回・枚）

事業名	内容	回数	枚数
野菜摂取普及啓発活動	JA 産直市野菜レシピ配布	95	2,660
	企業への野菜レシピメール配信	6	4,500
	富士ニュース野菜レシピ掲載	7	126,000
	野菜摂取チラシ配布	43	2,536
合　計		151	135,696

２　健康増進事業

健康増進法に基づき 40 歳以上の市民を対象に、健康教育、健康相談、健康診査、訪問指導を実施した。

（１）健康教育

ア　がん共生セミナー

目　　的：がんについて正しく知り、がんと診断されても家庭や地域・職場で支え合い、相談や支援が受けられる「がんとの共生」について理解を深める。
対　　象：職域事業所の管理者等および一般市民
実施状況：　（単位：人）

	内　容	講　師	参加者数
第 1 課	がん治療の現状 がん相談支援センター・がん患者サロンの紹介	医　師 看護師	17
第 2 課	がん治療とくすり がん治療と暮らし（脱毛・ｳｨｯｸﾞ・ﾍｱﾄﾞﾈｰｼｮﾝ）	薬剤師 医療用ｳｨｯｸﾞｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ	12
第 3 課	がん治療と仕事の両立支援 がんと共に生きる	社会保険労務士 ピアサポーター	13

イ　女性のがん予防

市民一人ひとりが女性のがんについて正しく知り、早期発見・早期治療に自ら積極的に取り組むことを促すために、乳がんのセルフチェック等を含む啓発用動画を作成した。

骨の健康相談会や幼児健診、地区活動での活用、YouTube 配信、DVD の貸出を実施した。

ウ　その他健康教育（健康増進事業以外も含む）

実施状況（事業での再掲含む）：　（単位：回・人）

内　容	回　数	参加者数
地区活動による健康教育（地区概況と健診のすすめ、生活習慣病予防、フレイル予防、応急救護等）	130	2,067
健康広げ隊連絡会	1	31
栄養士その他講座	16	417
職域健康教育	15	96
がん共生セミナー	3	42
地区防災関連	14	927
合　計	179	3,580

（２）健康相談

ア　お出かけ健康相談（啓発事業）

目　　的：身近な生活圏である商業施設、イベント等で気軽に相談でき、健康づくりの情報を得る環境を作ることで、健康度の向上を図る
対　　象：市民、事業所従業員
内　　容：健康チェック、健康相談
スタッフ：保健師、栄養士等
実施状況：　（単位：回・人）

会　場	回　数	参加者数
地区文化祭、地区イベント、 商業施設（マックスバリュ、JA ふじ伊豆）	39	3,029

イ　骨の健康相談

目　　的：市民が骨粗しょう症やロコモティブシンドロームについて理解し、食事・運動等の生活習慣を改善することで、健康寿命が延伸できるようにする。
対　　象：20 歳以上の市民
内　　容：問診、推定骨量測定、保健指導
スタッフ：保健師、看護師
会　　場：フィランセ１階　骨の相談室、まちづくりセンター
申込方法：電話予約
実施状況：　（単位：人・%）

年度／区分	令和元			2			3			4			5		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
利用者	294	1,815	2,109	163	894	1,057	187	850	1,037	292	1,224	1,516	172	1,344	1,516
65 歳以上者割合	69.0	54.7	57.1	64.4	50.1	52.1	69.0	51.9	55.0	68.5	51.3	54.6	73.8	45.2	48.8
再利用者割合	32.3	55.0	59.9	46.6	58.9	56.9	40.6	54.8	52.3	33.9	56.0	51.8	40.7	53.2	51.8

年度別の内訳：　（単位：回・人）

区分＼年度		令和 3		4		5	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
骨の健康相談	フィランセ	15	251	24	410	22	374
	まちづくりセンター	21	345	25	439	37	621
乳がん検診と同時実施等		12	213	27	345	23	521
歯周疾患健診と同時実施		9	228	13	322	0	0
合　計		57	1,037	89	1,516	82	1,516

ウ　富士市まちの保健室

目　　的：まちづくりセンター等で地区住民と顔の見える関係を作りながら、居住地区で気軽に健康相談等を受けることができるようにする。
対　　象：市民
内　　容：健康チェック、保健指導
スタッフ：保健師
会　　場：まちづくりセンター、公会堂等
実施状況：　（単位：回・人）

区分＼年度	令和 5
回　　数	46
参加者数	962

エ　その他健康相談

実施状況（事業での再掲含む）：　（単位：回・人）

内　容	回　数	参加者数
地区活動等での健康相談 （インボディ・血管年齢・握力測定等、骨の健康相談、血圧測定等）	131	4,350
骨の健康相談	82	1,516
職域　健康相談・健康チェック	16	281
職域　健康相談（電話）	136	136
保健師　電話相談	14	14
栄養士　電話相談	11	11
合　計	390	6,308

（３）訪問指導

ア　訪問指導

目　　的：療養上の保健指導が必要と認められる者及び家族等に対して、訪問してその健康に関する問題を把握し、必要な指導を行い、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図る

対　　象：40 歳以上の者

内　　容：家庭における療養方法に関する指導、生活習慣病の予防、介護予防に関する指導、家族介護を担う者の健康管理、等

スタッフ：保健師、管理栄養士

実施状況：　（単位：人）

区分＼年度	令和 4	5
実人数	4	3
延人数	18	6

イ　受診勧奨訪問

目　　的：国保特定健診の前年度未受診者等に対して継続的な受診を促し、健康寿命の延伸を図る

対　　象：国保特定健診対象者（各地区の健康状況に合わせた抽出条件を設定する）

内　　容：特定健診（集団・個別）の案内、地区の保健事業の案内等

スタッフ：保健師

実施状況：　（単位：人）

区分＼年度	令和 4	5
訪問人数	943	874
実際に会えた人数	684	662
特定健診等受診人数	198	176

３　地域支援事業

地域支援事業は、被保険者が要介護状態･要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態となった場合でも、可能な限り地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的として市町村が行うものである。

地域支援事業には「新しい介護予防･日常生活支援総合事業(総合事業)」「包括的支援事業」「任意事業」があり、高齢者支援課が主体で行っているが、平成 30 年度より地域保健課が「一般介護予防事業」と「任意事業」の一部を執行委任により、65 歳以上の方を対象に実施している。

(１)一般介護予防事業

ア　介護予防普及啓発事業(介護予防教室)

(ア)栄養満点教室

目　　的：フレイル予防や改善ための知識の普及を通じ、高齢者がいつまでも自立した生活が続けられるよう、生活の質（QOL）の向上を目指す。

内　　容：フレイル予防のための食生活･運動･口腔衛生･嚥下に関する講話、体組成測定による評価。

実施状況：　　(単位：回・人)

区分 年度	教室数	回数	実人数	延人数
令和元	1	4	19	68
2	1	2	21	41
3	1	4	15	55
4	2	4	36	57
5	2	4	15	23

イ　介護予防普及啓発事業(自主グループによる介護予防教室)

(ア)ご近所さんの運動教室

目　　的：運動教室を通して、元気な高齢者を増やし、高齢者が活躍できる地域づくりを目指す。

内　　容：介護予防サポーターが主催となり、歩いて通える会場での運動教室を行う。

実施状況：　　(単位：回・人)

区分 年度	教室数	回数	実人数	延人数	サポーター 実人員
令和元	47	1,500	762	15,808	72
2	58	940	699	8,482	70
3	64	1,276	718	10,017	78
4	74	1,703	913	13,830	91
5	75	1,811	845	15,737	93

（イ）ご近所さんの料理教室

目　　的：身近な場所で、料理教室を通して、元気な高齢者を増やし、高齢者が活躍できる地域づくりを目指す。

内　　容：介護予防サポーターが主催となり、歩いて通える会場での料理教室を行う。

実施状況：　（単位：回・人）

区分 年度	教室数	回数	実人数	延人数	サポーター 実人員
令和元	3	27	31	222	3
2	3	1	7	7	3
3	2	4	7	28	2
4	1	12	7	84	1
5	1	12	7	84	1

ウ　地域介護予防活動支援事業

（ア）介護予防サポーター（運動）養成講座

目　　的：介護予防の取組を地域に広めたいという意思のある人に対し、必要な知識と技術の習得を図り、ご近所さんの運動教室を開催できるサポーターを養成する。

内　　容：介護予防（認知症・ロコモティブシンドローム）のポイントや高齢者の心身面を理解するための講義と、体操、ストレッチ、レクリエーション、ふじサンサン体操等の実技指導

実施状況：　（単位：回・人）

区分 年度	実施回数	実人数	延べ人数
令和元	5	30	128
2	5	28	113
3	4	9	34
4	4	21	79
5	4	20	74

（イ）介護予防サポーター（運動）現任研修

目　　的：介護予防サポーター(ご近所さんの運動教室指導者)がより実践的な技術を習得し、主体的に活動できるよう支援する。

内　　容：高齢者の体の動きを理解し、参加者が安心して実施できる運動指導技術等を学ぶ。

実施状況：　（単位：回・人）

区分 年度	実施回数	実人数	延べ人数
令和元	3	58	104
2	2	59	94
3	2	37	37
4	2	41	52
5	2	47	68

（ウ）介護予防サポーター（栄養）養成講座

目　　的：市民が高齢になっても、身近な場所に社会参加の場があり、役割を持ちながら、住みなれた場所でいきいきとした生活が送れることを目指すため、社会参加の場のひとつとして料理教室を開催できるサポーターを養成する。

内　　容：講話と調理実習、低栄養予防、運動、口腔衛生についての知識を得る。

実施状況：　　（単位：回・人）

区分 年度	実施回数	実人数	延べ人数
令和元	4	9	29
2	1	17	17
3	2	11	22
4	4	7	28
5	4	6	23

（エ）介護予防サポーターの活動支援

目　　的：元気な高齢者を増やし、高齢者が活躍できる地域づくりを目指し、介護予防に資する「通いの場」を市内に多く展開できるよう、その活動を支援する。

実施状況：　　（単位：回・人）

教室	内容	回数	実人数	延人数
ご近所さんの運動教室	健康相談・健康講話※	164	662	903
ご近所さんの料理教室	健康相談・健康講話	1	7	7
交流会	連絡事項等の周知	1	31	31
理学療法士派遣	理学療法士による体力評価	20	244	244
栄養士派遣	栄養士による健康講話	20	207	207
歯科衛生士派遣	歯科衛生士による健康講話	22	200	200

※高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施により開始した教室参加者への個別相談を含む（令和５年度開始）

４　母子保健事業

母子保健法に基づき、母性ならびに乳幼児の健康の保持及び増進(妊婦の妊娠・出産または育児についての正しい理解と自らの健康保持及び増進、ならびに乳幼児の保護者の育児についての正しい理解と乳幼児の健康保持及び増進)を図るため、保健指導、健康診査等の措置を講じ、国民保健の向上に寄与する。

(１)不妊・不育治療費補助事業

ア　不妊・不育治療費補助金

目　　的：不妊治療又は不育治療に要する費用の一部補助を行い、不妊・不育に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図る。

対　　象：夫又は妻が市内に住所を有し、不妊治療又は不育治療を受けている夫婦（事実婚含む）

内　　容：補助は、当年度において不妊治療又は不育治療に要した費用から保険者が負担また助成した額を控除した額の 2 分の 1 の額とし、1 年度あたり 50 万円を限度とする(100 円未満の端数は切り捨て)。

利用回数は、同一の夫婦に対して 1 年度あたり 2 回、通算 5 箇年度を限度とする。

実施状況：　　(単位：人・円・%)

区分 / 年度	申請者		平均補助金額			妊娠確認数(割合)
	実人数	延人数	一般不妊治療	生殖補助医療	不育治療	
令和元	407 (一般 157・特定 247・不育(再掲)15)	440	44,403	274,548	31,142	121(29.7)
2	403 (一般 153・特定 248・不育(再掲)16)	440	56,364	242,332	21,991	112(27.8)
3	403 (一般 109・特定 293・不育(再掲)13)	445	50,118	230,840	19,160	101(25.1)
4	316 (一般 64・特定 285・不育(再掲)6)	349	39,925	161,576	14,806	111(35.1)
5	265 (一般 51・特定 231・不育(再掲)8)	282	41,718	155,174	28,331	110(41.5)

※令和 4 年 4 月から不妊治療の保険適用範囲が拡大したことを受け静岡県特定不妊治療費補助金が廃止された。

※令和 4 年 4 月から県の一般不妊治療（人工授精）費等助成事業費補助金が改正されたことを受け、人工授精治療費補助金を廃止し、不妊・不育治療費補助金に統一した。

※令和 5 年 4 月から生殖補助医療（特定不妊治療）において年齢要件を設けた。(当該治療周期開始時において、女性の年齢が 43 歳未満)

（２）母性保健

ア　母子健康手帳交付（こども家庭課）

目　　的：母子健康手帳交付時に個別に面談し、妊婦の健康維持・増進のために相談に応じ、知識の普及を図る。また産前や、産後の育児支援のために必要な保健事業につなげるきっかけとする。

対　　象：妊婦、その配偶者等

内　　容：妊娠届出書受理と母子健康手帳の交付、セルフプランの作成、妊娠・出産に関する保健指導

スタッフ：保健師

会　　場：こども家庭センター　母子相談室

実施状況：月～金曜日　午前８時30分～午後５時15分
日曜日（第１日曜日）午前９時～午後４時　　255日

（ア）妊娠届出状況　　（単位：人・％）

区分／年度	妊娠届出数		妊娠週数					妊娠届出者の状況（再掲）		
			11以下	12～19	20～27	28以降	出産後	初妊婦	10代	外国人
令和元	実人数	1,603	1,518	68	9	5	3	753	40	84
	割合	100.0	94.7	4.2	0.6	0.3	0.2	47.0	2.5	5.2
2	実人数	1,587	1,504	64	10	9	0	731	24	90
	割合	100.0	94.8	4.0	0.6	0.6	0	46.1	1.5	5.7
3	実人数	1,531	1,463	50	11	6	1	702	24	74
	割合	100.0	95.6	3.3	0.7	0.3	0.1	45.9	1.6	4.8
4	実人数	1,436	1,360	63	5	7	1	677	22	91
	割合	100.0	94.7	4.4	0.3	0.5	0.1	47.1	1.5	6.3
5	実人数	1,319	1,241	61	10	6	1	638	18	92
	割合	100.0	94.1	4.6	0.8	0.5	0.1	48.4	1.4	7.0

（イ）妊婦の喫煙・飲酒状況　　（単位：人・％）

区分／年度	妊娠届出数		喫煙状況		飲酒状況	
			やめた	吸っている	やめた	飲む
令和元	実人数	1,603	268	45	794	5
	割合	100.0	16.7	2.8	49.5	0.3
2	実人数	1,587	237	40	770	6
	割合	100.0	14.9	2.5	48.5	0.4
3	実人数	1,531	234	27	756	4
	割合	100.0	15.3	1.8	49.4	0.3
4	実人数	1,436	200	35	687	4
	割合	100.0	13.9	2.4	47.8	0.3
5	実人数	1,319	166	29	622	6
	割合	100.0	12.6	2.2	47.2	0.5

イ　妊婦健康診査（こども家庭課）

目　　的：妊婦が定期的に健康診査を受診することにより、急激な母体変化による異常や胎児異常の早期発見及び異常出産・未熟児出産の予防等のため、適切な保健指導が受けられるよう公費による妊婦健康診査を委託医療機関等において実施し、妊婦の保健管理の向上を図る。

対　　象：母子健康手帳の交付を受けた妊婦

内　　容：健康状態（保健指導、定期検査を含む）の把握、子宮頸がん検診（細胞診）
血液検査：血液型（ABO 血液型・RH 血液型・不規則抗体）、血算、血糖、B 型肝炎抗原検査、C 型肝炎抗体検査、梅毒血清反応検査、風疹ウイルス抗体価検査、トキソプラズマ、HIV 抗体価検査、HTLV－1、クラミジア検査、腹部超音波検査、B 群溶血性レンサ球菌（GBS 検査）

実施状況：基本健診 14 回(超音波検査 4 回、血液検査 1 回、血算検査 1 回、GBS 検査 1 回は健診と同時実施）　延べ受診人数　25,438 人

ウ　多胎妊婦健康診査（こども家庭課）

目　　的：単胎妊娠よりも負担の大きい多胎妊娠のより安全な分娩と健康な児の出産のため、医療機関において公費負担による多胎妊婦健康診査を実施することにより、多胎妊婦の保健管理の向上を図る。

対　　象：母子健康手帳の交付を受けた多胎妊婦

内　　容：健康状態（保健指導、定期検査を含む）の把握

実施状況：基本健診 5 回追加
延べ受診人数　3 人

エ　基本健診　妊婦健康診査受診状況（こども家庭課）

（単位：人）

受診券交付者実人数（A）	1,391
健診受診実人数	2,108

（単位：人・％）

区分＼回数		基本健診													
		初回	第２回	第３回	第４回	第５回	第６回	第７回	第８回	第９回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
健診受診人数(B)		1,331	1,169	1,273	1,261	1,236	1,268	1,271	1,275	1,282	1,292	1,261	1,182	935	552
受診率　(B/A)		95.7	84.0	91.5	90.7	88.9	91.2	91.4	91.7	92.2	92.9	90.7	85.0	67.2	39.7
結果	所見なし	1,271	1,159	1,265	1,254	1,222	1,252	1,251	1,259	1258	1,265	1,239	1,168	920	543
	所見あり	60	10	8	7	14	16	20	16	24	27	22	14	15	9
	妊娠高血圧症	0	1	0	0	0	2	1	1	2	3	2	1	2	2
	妊娠糖尿病	1	1	0	0	6	1	2	1	2	3	0	2	1	1
	その他	59	8	8	7	8	13	17	14	20	21	20	11	12	6
	医療機関にて（治療・指導）	9	8	8	4	6	15	18	14	22	23	18	11	13	9
	要精密	4	1	0	1	8	1	1	1	0	0	0	1	0	0
	要保健師連絡	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
	その他	47	1	0	2	0	0	0	1	2	3	4	2	2	0
県外等補助金申請分(再掲)		3	5	8	10	8	7	12	15	38	57	61	63	53	36

オ　多胎妊婦健康診査(単位：人)

受診券交付者実人数(C)	7
受診実人数	2

(単位：人・%)

区分 ＼ 回数		多胎妊婦健康診査				
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
健診受診人数(D)		1	2	0	0	0
受診率 (D/C)		14.3	28.6	0.0	0.0	0.0
健診結果	所見なし	1	1	0	0	0
	所見あり	0	1	0	0	0
	妊娠高血圧症	0	0	0	0	0
	妊娠糖尿病	0	0	0	0	0
	その他	0	1	0	0	0
	医療機関にて（治療・指導）	0	1	0	0	0
	要精密	0	0	0	0	0
	要保健師連絡	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
県外等補助金申請分(再掲)		0	0	0	0	0

カ　B型・C型肝炎、子宮頸がん検診　(単位：人・%)

健診項目	HTLV-1抗体検査	HBs抗原検査	C型肝炎抗体検査	子宮頸がん検診	風疹抗体検査
当該検査受診人数 (E)	1,331	1,331	1,331	1,331	1,331
受診率 (E/交付者数A)	95.7	95.7	95.7	95.7	95.7
陽性者・要精密検査者等数※	5	4	0	18	535

※HTLV-1抗体検査・HBs抗原検査・C型肝炎抗体検査は陽性者数
※子宮頸がん検診は要精密検査数
※風疹抗体検査は予防接種要相談者数

キ　超音波検査　(単位：人・%)

回数	第1回	第2回	第3回	第4回
受診人数 (F)	1,168	1,261	1,310	1,287
受診率 (F/交付者数A)	84.0	90.7	94.2	92.5

ク　血液検査等　(単位：人・%)

区分	血液検査	血算検査	GBS検査
受診人数 (G)	1,324	1,223	1,277
受診率 (G/交付者数A)	95.2	87.9	91.8

ケ　お母さんお父さん教室

目　　的：妊娠・出産・産褥および育児に関する正しい知識を普及し、妊婦自身の健康管理が適切に行えるようにすると共に、夫婦で出産や育児に備える心構えが持てるように支援する。

対　　象：初妊婦（妊娠５か月以降）とその夫またはパートナー

内　　容：１課：歯科健診と歯の健康の講話、２課：妊娠中と産後の食生活の講話、
３課：赤ちゃんのお世話と健康管理の講話と実習　他

スタッフ：歯科医師、保健師、栄養士、歯科衛生士

実施状況：　（単位：人・回・％）

区分／年度	初妊婦数	実施回数	実出席数		妊婦出席率	延出席数	
			妊婦	夫		妊婦	夫
令和元	753	25	420	296	55.8	546	315
2	731	22	331	300	45.3	513	383
3	702	21	350	289	49.8	585	306
4	677	27	402	350	59.4	754	359
5	638	27	411	354	64.4	764	354

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和元年度は１回、令和２年度は４回、令和３年度は５回中止した。

コ　プレパパママと先輩パパママ交流会

目　　的：妊婦と夫またはパートナー、子育て中の夫婦等が、地域の子育て支援者とつながり、安心して子育てができる地域をつくる。

対　　象：開催地区及び周辺に住む妊婦と夫またはパートナー、子育て中の親とその子

内　　容：グループワークによる交流、地域の社会資源の紹介　他

スタッフ：民生委員児童委員、主任児童委員、読み聞かせの会、子育てサークル、子育て支援団体等

実施状況：　（単位：人）

区分／年度	開催地区	回数	会場数	参加者数	スタッフ数
令和元	天間、吉永・原田、富士南、今泉、須津・浮島・元吉原、岩松・岩松北、丘	7	7	238	163
2	天間、吉永・原田、富士南、今泉、須津・浮島・元吉原、岩松・岩松北、丘、富士川・松野、大淵、広見、鷹岡	11※1	11※1	81※1	62※1
3	岩松・岩松北、大淵、田子浦、富士北、富士見台・吉永北・神戸・青葉台	5	5	74	52
4	須津・浮島・元吉原、田子浦、富士川・松野、富士駅北、丘・広見、富士北、富士南・富士駅南、天間・鷹岡、岩松・岩松北、神戸・富士見台・吉永北・青葉台、今泉、大淵、原田・吉永、伝法・吉原	17※2	17※2	246※2	188※2
5	須津・浮島・元吉原、田子浦、富士川・松野、富士駅北、丘・広見、富士北、富士南・富士駅南、天間・鷹岡、岩松・岩松北、神戸・富士見台・吉永北・青葉台、今泉、大淵、原田・吉永、伝法・吉原	24※3	20※3	330	271

※1　新型コロナウイルス感染症の影響により、岩松・岩松北地区は書面で開催した。
※2　プレパパママの申し込みが1組のみだったため、原田・吉永地区は資料郵送にて対応した。
※3　プレパパママの申し込みがなかったため、大淵地区は書面で開催した。

サ　母子栄養強化事業（こども家庭課）

目　　的：生活保護世帯、市民税（住民税）及び所得税非課税世帯の妊産婦と乳児に対して栄養食品を支給し、健康の保持・増進を支える。

支給期間：妊婦は、栄養食品支給申請書を受理した日の翌々週から、出産した日の属する月の末日。
産婦は、出産した日の属する月の翌月初日から３か月間。
乳児は、出生後、満４か月目の日の属する月の初日から９か月間。

支給品目：妊産婦は妊産婦授乳婦用粉乳、乳児は粉乳。

実施状況：　　（単位：人・月・箱）

区分／年度	支給対象者		支給延べ月	支給品目
	妊産婦	乳児	月数	粉乳
令和元	10	0	53	159
2	12	0	33	99
3	15	0	43	129
4	9	0	28	84
5	12	0	19	57

シ　富士市特定妊婦等の妊産婦事業に係るタクシー乗車利用金助成事業

目　　的：妊産婦健康診査の受診及び産後ケア事業等を利用する特定妊婦等のタクシー乗車料金を助成することにより、産科医療機関等への移動に係る経済的負担の軽減を図り、特定妊婦等の健康保持増進に寄与する。

対　　象：特定妊婦等のうち、経済的に困窮している者

実施状況：　　（単位：人・回）

区分／年度	助成対象者	助成回数
	妊産婦	延べ
令和５	5	23

ス　新生児聴覚スクリーニング検査補助事業（こども家庭課）

目　　的：新生児期における聴覚障害の早期発見及び早期療育を推進するため、公費負担による新生児聴覚スクリーニング検査を委託医療機関等において実施し、新生児期における聴覚検査の受診率向上を図る。

対　　象：新生児又は乳児

内　　容：聴覚検査の実施　自動聴性脳幹反応検査（自動ABR）又は耳音響放射検査（OAE）のいずれかの方法によるものとする。

実施状況：富士市妊産婦健康診査等補助金申請62件含む（自動ABR 50件 OAE 12件）　（単位：人・％）

区分／年度	対象者（出生数）		受診者数	検査方法		要再検査	
				自動 ABR	OAE	自動 ABR	OAE
令和元	人数	1,626	1,455	1,115	340	9	1
	割合	100.0	89.5	76.6	23.4	0.8	0.3
2	人数	1,566	1,435	1,115	320	13	1
	割合	100.0	91.6	77.7	22.3	1.2	0.3
3	人数	1,556	1,427	1,143	284	7	1
	割合	100.0	91.7	80.1	19.9	0.6	0.4
4	人数	1,466	1,327	1,080	247	7	1
	割合	100.0	90.5	81.4	18.6	0.6	0.4
5	人数	1,386	1,251	1,043	208	12	0
	割合	100.0	90.3	83.4	16.6	1.0	0

セ　産婦健康診査補助事業（こども家庭課）

目　　的：産後うつの予防や新生児への虐待予防等を図るため、産後2週間、産後1か月など出産後間もない時期の産婦に対する健康診査を公費助成により実施することで、産後の初期段階における母子に対する支援を強化する。

対　　象：概ね出産後8週間以内の産婦

実施時期：第1回（産後2週間）概ね出産後5日から21日以内
　　第2回（産後1か月）概ね出産後22日から56日以内

内　　容：問診（生活環境、授乳状況、育児不安、精神疾患の既往歴、服薬歴等）
　　診察（子宮復古状況、悪露、乳房の状態等）
　　体重・血圧測定
　　尿検査（蛋白・糖）
　　こころの健康チェック表（エジンバラ産後うつ病質問票：EPDS）

実施状況：

産婦健康診査　1回目（富士市妊産婦健康診査等補助金申請　51件含む）　　（単位：人・%）

区分／年度	対象者数	受診者数	結果		要支援内訳（重複あり）			エジンバラ				連絡票（連絡率）
			異常なし	要支援	専門医療機関紹介	市へ支援依頼	病院継続フォロー	9点以下	9点以上①	1項目10点以上②	①かつ②	
令和元	1,609	1,523	1,344	179	2	94	97	1,322	152	6	43	90
		94.7	88.2	11.8	0.1	6.2	6.4	86.8	10.0	0.4	2.8	50.3
2	1,548	1,453	1,280	173	3	93	95	1,258	141	15	39	111
		93.9	88.1	11.9	0.2	6.4	6.5	86.6	9.7	1.0	2.7	64.2
3	1,556	1,464	1,286	178	8	97	81	1,286	178	56	37	91
		94.1	87.8	12.2	0.5	6.6	5.5	87.8	12.2	3.8	2.5	45.0
4	1,466	1,364	1,201	163	1	101	70	1,215	149	36	23	106
		93.0	88.0	12.0	0.1	7.4	5.1	89.1	10.9	2.6	1.7	65.0
5	1,374	1,305	1,164	141	2	84	61	1,141	111	8	45	68
		95.0	89.2	10.8	0.2	6.4	4.7	87.4	8.5	0.6	3.4	48.2

産婦健康診査　2回目（富士市妊産婦健康診査等補助金申請　66件含む）　（単位：人・％）

区分／年度	対象者数	受診者数	結果		要支援内訳（重複あり）			エジンバラ				連絡票（連絡率）
			異常なし	要支援	専門医療機関紹介	市へ支援依頼	病院継続フォロー	9点以下	9点以上①	1項目10点以上②	①かつ②	
令和元	1,609	1,581	1,488	93	5	59	39	1,455	74	19	33	28
		98.3	94.1	5.9	0.3	3.7	2.5	92.0	4.7	1.2	2.1	30.1
2	1,548	1,547	1,458	89	5	59	29	1,407	74	23	43	31
		99.9	94.2	5.8	0.3	3.8	1.9	91.0	4.8	1.5	2.8	34.8
3	1,556	1,545	1,448	97	4	55	38	1,438	107	43	23	34
		99.3	93.7	6.3	0.3	3.6	2.5	93.1	6.9	2.8	1.5	35.1
4	1,466	1,448	1,347	101	0	57	45	1,342	106	41	24	39
		98.8	93.0	7.0	0.0	3.9	3.1	92.7	7.3	2.8	1.7	38.6
5	1,374	1,391	1,307	84	2	53	32	1,287	53	15	36	38
		101.2	94.0	6.0	0.1	3.8	2.3	92.5	3.8	1.1	2.6	45.2

ソ　ハイリスク妊産婦（特定妊婦を含む）への支援（こども家庭課）

妊娠届出および転入した妊婦のハイリスク状況：　（単位：件・人・％）

区分／年度	妊娠届出	転入した妊婦	合　計	ハイリスクケース	
				人数	割　合
令和元	1,603	112	1,715	720	42.0
2	1,587	98	1,685	565	33.5
3	1,531	100	1,631	683	41.9
4	1,436	92	1,528	713	46.7
5	1,319	72	1,391	648	46.6

令和５年度ハイリスク妊婦（実人数 648 人）の内訳：　（単位：人）

ハイリスク区分	10代	35歳以上初産婦	40歳以上	喫煙	多胎	精神疾患	妊娠回数	未婚・未入籍	24週以降の届け出	経済的困難	外国人	援助者なし	望まない妊娠	その他
延人数	19	98	48	29	7	93	6	109	16	171	92	42	5	297

実施状況：　（単位：人・件・回）

区分／年度	支援プラン作成	家庭訪問						来所相談		電話相談		関係機関連絡	ケース会議
		妊婦		産婦		乳幼児等		妊産婦		妊産婦			
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数		
令和元	194	21	27	51	66	11	15	213	267	617	1,105	767	5
2	243	43	49	49	60	37	42	164	190	577	918	816	11
3	372	36	51	57	71	48	58	143	169	602	762	521	9
4	487	56	72	65	90	55	77	193	227	875	1,257	720	25
5	476	83	107	86	135	77	112	217	241	981	1,395	852	38

タ　特定妊婦への支援（こども家庭課）

目　　的：妊娠期からの継続的な支援を特に必要とする妊婦を特定妊婦とし、安定した妊娠出産・育児を迎えるための相談・支援を行う。

実施状況：　（単位：人・件）

区分／年度	対象者	支援方法（重複あり）							
	実人数	家庭訪問	電話相談	来所相談	健診相談 ※1	関係機関連絡	医療機関連絡 ※2	実務者会議	ネットワーク会議
令和元	48	57	302	86	0	305	55	10	5
2	46	60	227	79	11	316	59	10	11
3	43	89	160	70	6	138	51	10	8
4	41	114	369	88	12	337	44	10	25
5	36	175	347	86	12	355	66	10	36

※1　健診相談は、妊婦健康診査の受診介助を含む
※2　医療機関連絡は、妊産婦及び母子支援連絡票の送付数

チ　妊産婦及び母子支援ネットワーク（こども家庭課・地域保健課）

目　　的：特定妊婦等、気になる妊産婦や母子の早期発見や早期介入を行い、安心して出産･育児ができるよう医療機関と行政関係者が連携し、妊娠･出産･育児期にかかる切れ目のない支援体制ができるよう、妊産婦及び母子支援連絡票を活用する。

対　　象：特定妊婦等、出産後の子どもの養育について妊娠期から継続的な支援を特に必要とする者

運用状況：　（単位：件）

区分／内訳	妊産婦及び母子支援連絡票		妊産婦及び母子支援報告票	その他小児科等	
	妊婦	産婦・乳幼児		小児科	精神科
医療機関→富士市	18	213	0	39	0
富士市→医療機関	108	4	153	37	0

ツ　富士市内産科医療機関及び助産所等情報交換会（こども家庭課）

目　　的：市内産科医療機関及び助産所等の専門職（助産師、看護師等）と市保健師等が妊産婦支援に関する情報を共有し、胎児･乳児の虐待予防に努めるとともに、産前･産後ケアの充実を図る。また、関係機関と顔の見える関係を築き、より良い連携を図る。

実施状況：令和６年２月８日（木）13：30～15：30　　消防防災庁舎３階研修室　19名参加

テ　多胎妊婦交流会（こども家庭課）

目　　的：多胎妊娠の妊婦が多胎育児をイメージしながら安心して出産し、育児を行うことができるよう、多胎育児経験者との交流や専門職による相談等を行う。

スタッフ：助産師、多胎子育て経験者（フジツインパワーズ）、保健師

実施状況：年２回　　（単位：人）

区分／日程	妊婦	家族（夫 他）
５月 27日（土）	1	0
２月　３日（土）	1	1

ト　産前・産後サポート事業（こども家庭課）

目　　的：妊産婦等が抱える妊娠･出産や子育てに関する悩み等について、助産師等の専門家や子育て経験者等の相談しやすい「話し相手」による相談支援を行い、家庭や地域での妊産婦等の孤立感の解消を図り、健やかな育児ができるよう支援する。

スタッフ：助産師、子育て経験者

実施状況：年48回

利用相談176件、電話相談０件、来所相談５件　　（単位：組・人）

区分／年度	参加組数	内訳				
	参加延べ組数	妊婦	産婦	父	乳児	幼児
令和元	431	12	420	1	382	49
2	377	16	364	0	346	31
3	383	11	373	1	353	43
4	477	14	463	0	446	33
5	279	39	238	1	232	47

ナ　産後ケア事業（こども家庭課）

目　　的：市内産科医療機関や助産所に一定期間宿泊、日帰り又は訪問することにより、母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を高め、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援する。

対　　象：生後１歳までの乳児と母親

実施状況：　　（単位：人・％）

区分／年度	実人数	宿泊			日帰り		日帰り２時間		訪問		申請理由（重複あり）					
		実	延べ	日数	実	延べ	実	延べ	実	延べ	レスパイト（休養）	体調不良	母乳育児ケア	授乳や育児等の指導	育児不安	その他
令和元	47	47	56	204	-	-	-	-	-	-	23	4	11	17	1	-
											41.1	7.1	19.6	30.4	1.8	-
2	221	27	29	116	32	181	-	-	184	576	83	5	325	286	12	5
											14.4	0.9	56.4	49.7	2.1	0.9
3	296	28	31	95	87	197	-	-	253	672	134	10	452	390	26	0
											13.2	1.0	44.7	38.5	2.6	0.0
4	301	22	22	66	134	291	-	-	265	627	207	7	528	499	17	3
											16.4	0.6	41.9	39.6	1.3	0.2
5	295	30	31	85	128	299	115	211	131	371	216	6	444	407	13	3
											19.8	0.6	40.8	37.4	1.2	0.3

ニ　はぐくむ FUJI 家事育児サポート事業（こども家庭課）

目　　的：家事や育児の支援が必要な家庭に対して、家事、育児支援者（ヘルパー等）を派遣し、家事や育児の援助を行うことにより、対象者の負担や不安を軽減し、健やかな育児ができるよう支援する。

対　　象：妊婦、１歳未満の乳児と同居している養育者、３歳未満の多胎児と同居している養育者

実施状況：　　（単位：件・人・時間）

区分／年度	申請数	利用実人数	利用時間
令和３	243	20	186
4	378	43	546
5	405	54	1,032

多胎利用状況：　　（単位：人・時間）

区分／年度	妊婦	0-1 歳	1-2 歳	2-3 歳	合計
	時間	時間	時間	時間	時間
令和３	0	1	1	0	2
	0	13	5	0	18
4	2	2	1	0	5
	7	46	8	0	61
5	0	8	2	1	11
	0	54	38	6	98

ヌ　はぐくむ FUJI 出産・子育て応援事業（令和５年１月開始事業）

目　　的：出産育児関連用品の購入費、妊娠期及び子育て期における支援サービスに係る利用者負担等の軽減を図るため、妊婦及び子育て家庭に対し、経済的支援として応援金を交付する。また、妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができるように、妊娠期から出産・子育て期までの相談支援を充実させ、希望者に8か月相談を実施する。

対　　象：出産応援金：妊娠届出の面接を受けた妊婦
子育て応援金：出産後、乳児家庭全戸訪問を受けた産婦

(ア)はぐくむ FUJI 出産・子育て応援金支給状況：　（単位：件・円）

区分 年度	種別	支給件数	１人あたり支給額	支給金額合計
令和５	出産応援金	1,338	50,000	66,900,000
	子育て応援金	1,408	50,000	70,400,000

（イ）妊娠８か月相談実施状況：　（単位：人・％）

区分 年度	８か月相談対象数	アンケート回収数	アンケート回収率	訪問	面接	電話
令和５	1,273	1,042	80.9	5	73	135

ネ　出生届出時面接（こども家庭課）

目　　的：富士市で出生した母子が安心して過ごせるように、出生届出時に面接をし、出生通知書で赤ちゃんの出生状況や産婦の健康状態を把握し、母子を支える家族の支援体制等を確認し、必要な支援につなげる。子育て総合相談センター、母子保健事業、子育て支援事業の紹介をする。

実施状況：　（単位：人・％）

区分 年度	出生数	面接数	実施率
令和元	1,626	1,619	99.6
2	1,566	1,575	100.6
3	1,556	1,551	99.7
4	1,466	1,459	99.5
5	1,386	1,366	98.6

ノ　転入届出時面接（こども家庭課）

目　　的：富士市に転入してきたこどものいる世帯が安心して子育てができるよう、母子保健事業の紹介、子育て支援事業の紹介をする。育児状況等の面接をし、支援が必要な世帯は、地域保健課の地区担当保健師や関係機関につなぐ。

実施状況：　（単位：人）

区分 年度	面接数	（再掲）		
		乳児	幼児	就学児以上
令和元	1,076	140	577	359
2	1,012	116	508	388
3	973	124	481	368
4	903	107	452	344
5	817	110	395	312

ハ　妊娠・出産・子育て相談（こども家庭課）

目　　的：妊娠･出産･子育てに関するワンストップの相談窓口として相談対応をする。
スタッフ：保健師、看護師、保育士
実施状況：　　（単位：件）

区分 年度	来所相談	電話相談
令和元	250	230
2	173	329
3	153	265
4	162	265
5	44	91

ヒ　子育て支援センター等訪問相談

目　　的：児の身体測定及び育児の相談支援を行い、社会資源の周知や関係機関につなぐ。
スタッフ：保健師・保育士
実施状況：　　（単位：回・人・件）

区分 年度	訪問回数	周知人数	相談
令和 5	30	187	50

フ　妊娠 SOS 相談（こども家庭課）

目　　的：望まない妊娠等、妊娠に関する何らかの問題を抱えた方への相談対応をする。
スタッフ：保健師、看護師
実施状況：　　（単位：件）

区分 年度	来所相談	電話相談
令和元	1	10
2	0	8
3	0	20
4	0	3
5	4	4

ヘ　流産・死産相談（こども家庭課）

目　　的：流産・死産で何らかのこころ等の問題を抱えた方への相談対応をする。
スタッフ：保健師、看護師
実施状況：　　（単位：件）

区分 年度	来所相談	電話相談
令和 3	0	3
4	0	1
5	2	23

※令和 5 年度から、妊娠 8 か月アンケート送付前に、妊娠継続の有無を確認している。

（３）乳児保健

ア　乳児健康診査

目　　的：身体発育・運動機能・精神発達の遅滞等障害を持った児を早期に発見し、心身障害の進行を防止するとともに、母子関係の確立、乳児の栄養、事故防止、予防接種、その他育児に関する適切な指導が受けられるよう公費による乳児健康診査を委託医療機関において実施し、乳児と保護者の健康の保持増進を図る。

対　　象：4 か月児、10 か月児

内　　容：身体の発達及び栄養状況・身体の疾病及び異常の有無、運動機能・神経学的発達の状況及び異常の有無、予防接種の実施状況、事故防止の実施状況、その他の育児上問題となる事項の有無

実施状況：　　（単位：人・%）

年度＼区分		対象数	受診数	受診率	受診結果				
					異常なし	要観察	要訪問	要精密	要治療
4か月児	令和元	1,737	1,642	94.5	1,504	53	0	39	46
					91.6	3.2	0.0	2.4	2.8
	2	1,610	1,574	97.9	1449	68	0	19	38
					92.1	4.3	0.0	1.2	2.4
	3	1,556	1,507	96.9	1382	57	0	26	42
					91.7	3.8	0.0	1.7	2.8
	4	1,505	1,483	98.5	1,340	69	0	25	49
					90.4	4.7	0.0	1.6	3.3
	5	1,428	1,388	97.2	1,273	66	0	18	31
					91.7	4.8	0.0	1.3	2.2
10か月児	令和元	1,795	1,572	87.6	1,413	108	0	15	36
					89.9	6.9	0.0	1.0	2.0
	2	1,661	1,595	96.0	1,439	106	0	11	39
					90.2	6.6	0.0	0.7	2.4
	3	1,610	1,499	93.1	1,354	100	0	11	34
					90.3	6.7	0.0	0.7	2.3
	4	1,556	1,481	95.1	1,322	107	0	19	33
					89.3	7.2	0.0	1.3	2.2
	5	1,474	1,391	94.4	1,264	80	0	8	39
					90.9	5.7	0.0	0.6	2.8

下段は受診結果割合

（ア）4 か月児栄養方法　　（単位：人・%）

年度＼区分	母乳		混合		人工		未記入	合計
	実数	割合	実数	割合	実数	割合		
令和元	557	33.9	539	32.9	530	32.3	16	1,642
2	519	33.0	503	32.0	529	33.6	23	1,574
3	434	28.8	483	32.1	577	38.3	13	1,507
4	383	25.8	466	31.4	619	41.7	15	1,483
5	312	22.5	440	31.7	623	44.9	13	1,388

（イ）4か月児健診虐待項目該当者への支援

目　　的：4か月児健康診査後、虐待の早期発見・早期支援を行う。

対　　象：4か月児健康診査の虐待問診項目に該当する記載があった家庭

内　　容：①乳幼児及び保護者の心身の状況、養育環境の把握
②育児に関する不安や悩みの相談
③関係機関との連絡調整

実施状況：　（単位：人）

区分／年度	対象者	対応方法		
		訪問	電話	来所相談
令和元	62	10	14	38
2	58	4	34	20
3	40	3	16	21
4	46	5	11	30
5	44	3	7	34

イ　離乳食講習会・オンライン離乳食講習会

目　　的：離乳期の乳児を持つ保護者に対し講習会を実施することにより、児の発育及び発達状況に応じた離乳食の正しい知識を普及する。

対　　象：初期　生後3～5か月頃の児を持つ保護者
中期　生後5～8か月頃の児を持つ保護者
後期・完了期　生後8か月以降の児を持つ保護者

内　　容：離乳食に関する講義、離乳食の作り方紹介、個別相談、手遊び
会場参加のみ試食(令和5年8月から再開)

スタッフ：栄養士、保育士

実施回数：48回

実施状況：　（単位：回・人）

区分／年度	初期		中期		後期		完了期	
	回　数	出席者数	回　数	出席者数	回　数	出席者数	回　数	出席者数
令和元	22	555	※	※	11	249	11	169
2	19	272	－	－	9	88	10	54
3	21	241	11	106	10	60	10	41
4	24	347	12	144	12	105	12	52

区分／年度	初期		中期		後期・完了期	
	回　数	出席者	回　数	出席者	回　数	出席者
令和5	24	356	12	188	12	142

※令和2年度までは、中期をすくすく赤ちゃん講座内で実施した。
※令和4年度9月からオンライン講習会を開始。
※令和5年度から後期・完了期をまとめて実施。

ウ　6か月児すくすく赤ちゃん講座

目　　的：発達発育に個人差が出はじめ、離乳食の開始等、様々な変化が現れてくる生後 6 か月の児と保護者を対象に、適切な養育、保護者自身の健康管理、保護者と児の正しい生活習慣の獲得のための知識と情報を提供し支援する。

対　　象：6か月になる児とその保護者

内　　容：身長・体重測定、食育と育児の話、健康・育児・栄養相談

スタッフ：保健師、栄養士、保育士、事務職員

実施回数：年 36 回

実施状況：　　（単位：人・％・件）

区分／年度	対象者数	出席者数	出 席 率	相 談 結 果	
				助　　言	経過観察
令和元	1,530	1,463	95.6	1,101	361
2	1,280	1,203	89.1	864	416
3	1,082	1,049	97.0	741	308
4	1,522	1,438	94.5	992	446
5	1,426	1,368	95.9	957	411

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和元年度は 3 回中止、令和 2 年度は 6 回中止、令和 3 年度は 12 回中止した。

※令和 3 年度は、講座中止期間の対象者に対して、個別支援を以下のとおり実施した。

令和 3 年度　講座中止対象者（12 回分）・未受講者支援状況：　　（単位：人・％）

対象者数	対応者数	対応方法	相 談 結 果	
			助　　言	経過観察
中止対象者 517 未受講者　55	567（対応率 99.1）	電話 467、訪問 31、来所 69	438	129

エ　子育て相談

実施状況：　　（単位：件）

区分／年度	妊 産 婦		乳　　児		幼　　児	
	来　所	電　話	来　所	電　話	来　所	電　話
令和元	131	273	281	723	267	847
2	229	619	334	1,108	318	869
3	203	324	312	834	269	747
4	156	362	328	635	361	960
5	92	288	260	457	302	874

（4）幼児保健

ア　1歳6か月児健康診査

目　　的：幼児初期の身体発育・精神発達の面で、歩行や言語などの発達の標識が容易に得られる1歳6か月児のすべてに対して健康診査を実施することにより、運動機能、視聴覚等の障害、精神発達の遅滞等障害を持った幼児を発見し、適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止するとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、幼児の栄養及び育児に関する指導を行い、もって幼児の健康の保持及び増進を図る。

対　　象：満1歳6か月を超え、満2歳に達しない幼児

内　　容：一般健康診査、歯科健康診査、精密健康診査、フッ化物歯面塗布

スタッフ：小児科医師、歯科医師、保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、保育士、心理職、事務職員

実施回数：実施回数39回

（ア）受診状況と一般健康診査結果　　（単位：人・%）

区分／年度	対象数	受診数	受診率	有所見		有所見内訳			再掲
				実数	率	身体面	精神面	身体精神面	育児環境他
令和元	1,661	1,646	99.1	701	42.6	245	340	116	325
2	1,478	1,470	99.5	782	53.2	402	216	164	289
3	1,829	1,814	99.2	1,043	57.5	515	282	246	239
4	1,714	1,689	98.5	1,014	60.0	405	343	266	407
5	1,555	1,547	99.5	962	62.2	380	331	251	327

※令和2年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3～5月は中止し、6月以降1回の対象人数を40人として実施している。

※令和2年度から歯科健診結果を有所見に加えた。

（イ）一般健康診査の事後指導の内訳　　（単位：人・件）

区分／年度	精密健康診査		こども発達センター	指導及び経過観察			
	受診券発行	こども病院紹介	紹介・継続	おやこ相談	家庭訪問	電話連絡等	延件数
令和元	15	1	16	11	65	523	599
2	20	2	33	17	50	441	508
3	18	0	45	13	71	608	692
4	15	3	47	12	44	658	714
5	24	1	41	10	28	662	700

（ウ）精密健康診査受診結果　　（単位：人）

区分	異常なし	要観察	要精密	要治療	未受診	合計
受診券発行	8	10	1	2	3	24
こども病院紹介	1	0	0	0	0	1
合計	9	10	1	2	3	25

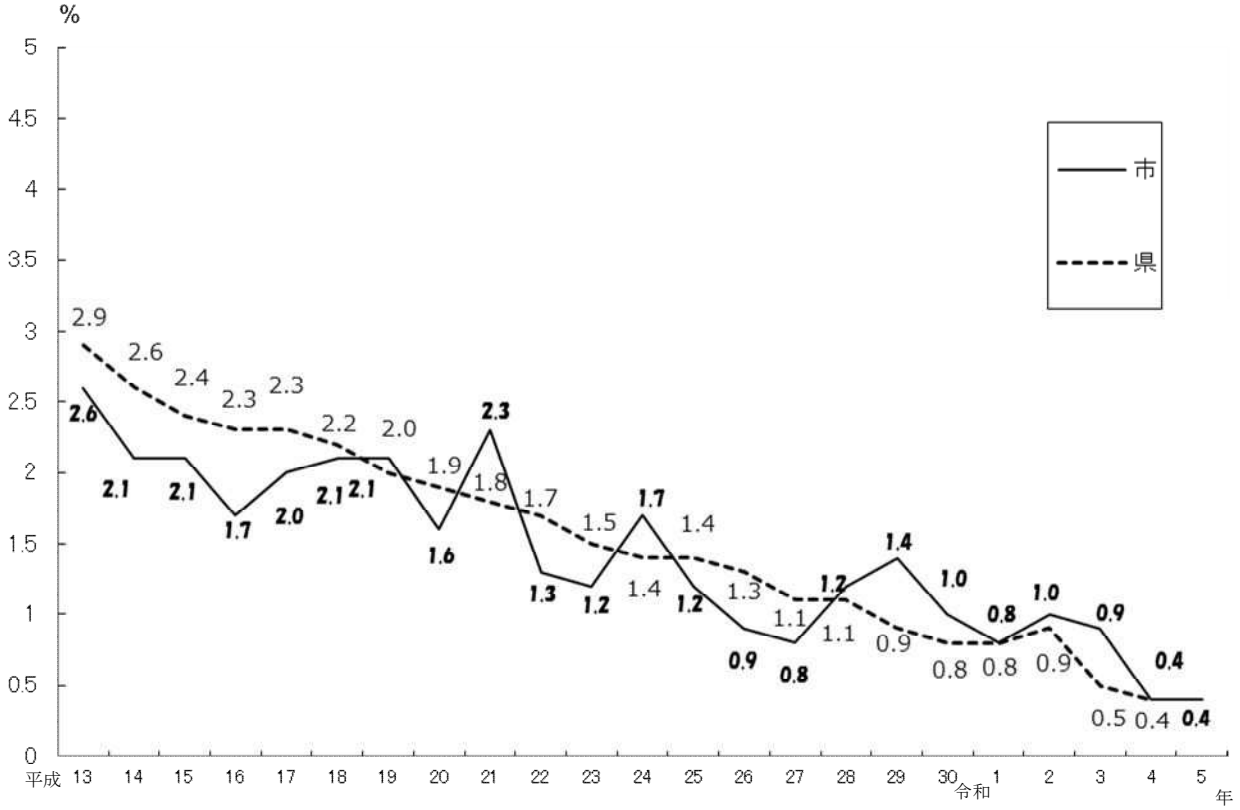
（エ）歯科健康診査結果　　（単位：人・％・本）

区分 年度	受診数	う歯有病者		う歯本数	1人平均 う歯本数	う　歯　り　患　型				歯列等の異常	
		人数	率			O2	A	B	C	反対咬合	その他
令和元	1,646	13	0.8	45	0.03	99	10	3	0	55	340
2	1,470	14	1.0	33	0.02	85	11	0	3	59	281
3	1,813	17	0.9	54	0.03	116	13	3	1	72	379
4	1,689	7	0.4	24	0.01	93	6	0	1	88	223
5	1,547	6	0.4	16	0.01	73	5	1	0	63	228

（オ）歯の健康管理上不適切な習慣やしつけ　　（単位：人・％）

区分 年度	指しゃぶり	仕上げみがきをしない	歯に関するしつけの悪い習慣			
			ジュース・乳酸飲料を毎日飲む	母乳	哺乳瓶	おやつの時間を決めていない
令和元	572(34.8)	75(4.6)	570(34.6)	276(16.8)	226(13.7)	576(35.0)
2	485(33.0)	60(4.1)	563(38.3)	174(11.8)	165(11.2)	476(32.4)
3	592(32.7)	69(3.8)	658(36.3)	254(14.0)	224(12.4)	592(32.7)
4	591(35.0)	67(4.0)	587(34.8)	228(13.5)	282(16.7)	584(34.6)
5	606(39.2)	73(4.7)	496(32.1)	181(11.7)	280(18.1)	558(36.1)

（カ）う歯有病者率の推移



イ　3歳児健康診査

目　　的：幼児期において幼児の健康・発達の個人差異が比較的明らかになり、保健・医療による対応の有無が、その後の成長に影響を及ぼす 3 歳児のすべてに対して健康診査を行い、視覚・聴覚・運動・発達等の心身障害、その他疾病及び異常を早期に発見し、適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止するとともに、う蝕の予防・発育・栄養・生活習慣・その他育児に関する指導を行い、もって幼児の健康の保持及び増進を図る。

対　　象：満 3 歳を超え、満 4 歳に達しない幼児
（通常 3 歳 1 か月児が対象であるが、令和 5 年度は 3 歳 3 か月児が対象であった。）

内　　容：一般健康診査、歯科健康診査、眼科健康診査、眼科屈折検査、精密健康診査、フッ化物歯面塗布

スタッフ：医師、歯科医師、保健師、看護師、視能訓練士、栄養士、歯科衛生士、保育士、心理職、事務職員

実施回数：実施回数 45 回

（ア）受診状況と一般健康診査結果　　（単位：人・%）

区分／年度	対象数	受診数	受診率	有所見		有所見内訳			再掲	再掲	
				人数	率	身体面	精神面	身体精神面	育児状況等	肥満度 15%以上	
										人数	割合
令和元	1,781	1,766	99.2	702	39.8	504	117	81	164	97	5.5
2	1,497	1,489	99.5	854	57.3	717	56	81	151	87	5.8
3	1,838	1,815	98.7	1,191	65.6	1,020	50	121	178	91	5.0
4	1,771	1,746	98.6	1,047	60.0	821	76	150	194	75	4.3
5	1,800	1,791	99.5	1,039	58.0	813	83	143	213	102	5.7

※令和 2 年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため 3～5 月は中止し、6 月以降 1 回の対象人数を 40 人として実施している。

※令和 2 年度から歯科健診結果を有所見に加えた。

（イ）一般健康診査の事後指導の内訳　（各年度 3 月末現在）　　（単位：人・件）

区分／年度	精密健康診査	こども発達センター紹介・継続	おやこ相談	指導及び経過観察		延べ件数
				家庭訪問	電話連絡等	
令和元	253	105	7	24	97	486
2	213	92	2	18	73	398
3	327	132	3	15	85	562
4	281	160	2	14	106	563
5	274	162	5	22	99	562

（ウ）精密健康診査（眼科健診以外）　　（単位：人）

区分／年度	異常なし	要観察	要検査	要治療	合計
令和元	26	13	1	1	41
2	38	16	2	0	56
3	47	24	2	2	75
4	44	11	3	2	66
5	32	11	7	0	50

（エ）眼科健診結果　　（単位：人）

区分／年度	眼科健診受診数	異常なし	既医療・経過観察	要精密健康診査	要精密			
					医師診察	問診	屈折異常の疑い	検査不可（判定不能）
令和元	1,766	1,545	18	203	42	—	123	38
2	1,489	1,314	19	156	31	—	108	17
3	1,815	1,497	21	297	—	144	151	2
4	1,745	1,427	44	274	—	123	140	11
5	1,791	1,496	30	265	—	118	145	2

※令和 3 年度から医師診察の代わりにスポットビジョンスクリーナーを導入し問診からも精密検査へつなげた。

○精密健康診査結果（眼科健診）（各年度 3 月末現在）　　（単位：人・%）

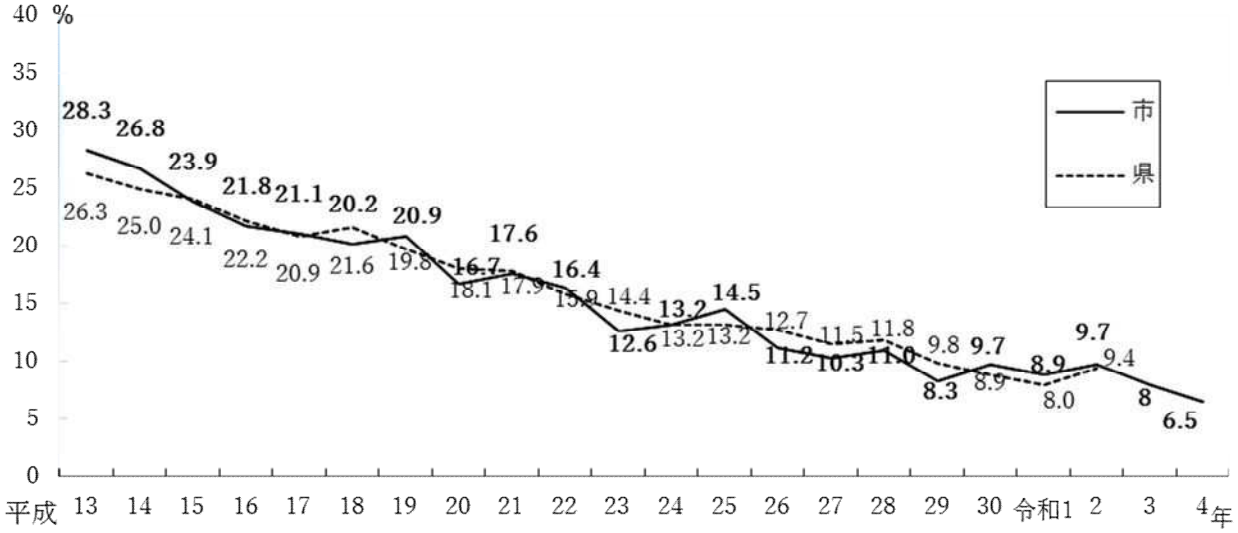
区分／年度	異常なし		要観察		要検査		要治療		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
令和元	41	25.4	70	43.5	22	13.7	28	17.4	161	100
2	34	28.4	60	50.0	10	8.3	16	13.3	120	100
3	104	46.6	73	32.7	26	11.7	20	9.0	223	100
4	74	38.4	73	37.8	18	9.3	28	14.5	193	100
5	62	38.5	57	35.4	12	7.5	30	18.6	161	100

（オ）歯科健診結果　　（単位：人・%・本）

区分／年度	受診数	う歯有病者		う歯の数		1人平均う歯本数	う歯り患型			不正咬合のある者	口腔軟組織に疾患のある者
		人数	率	未処置	処置		A	B	C		
令和元	1,766	157	8.9	475	38	0.29	122	24	11	242	5
2	1,489	144	9.7	398	51	0.30	112	23	9	193	1
3	1,815	146	8.0	545	23	0.31	104	30	12	268	7
4	1,746	114	6.5	361	46	0.23	81	27	6	237	3
5	1,791	107	6.0	318	16	0.19	82	20	5	297	3

※う歯り患型　A 上顎前歯部のみまたは臼歯部のみのむし歯、B 上顎前歯部および臼歯部にむし歯のあるもの、C１下顎前歯部のみにむし歯のあるもの、C2 下顎前歯部を含む他の部位にむし歯のあるもの

（カ）う歯有病者率の推移



ウ　健診事後個別相談「おやこ相談」

目　　的：乳幼児の健全な成長発達を促し、保護者が安心して子育てできるよう、個別に心理発達相談員による相談を実施する。

対　　象：就園前の乳幼児と保護者

内　　容：乳幼児の発達障害の早期発見と早期支援、保護者への子育て支援

スタッフ：心理職

実施状況：　（単位：人）

区分 年度	実施人数 （実）	実施人数 （延べ）	保護者への 子育て支援	乳幼児の発達や 生活面
令和元	37	41	13	28
2	45	49	16	33
3	51	57	21	36
4	41	43	15	28
5	55	58	28	30

結　　果：　（単位：人）

区分 年度	終了	おやこ 相談継続	こども 発達ｾﾝﾀｰ 紹介	こども 家庭課 紹介	保健事業 経過観察	おやこ （にこにこ） 教室	合　計
令和元	9	4	1	0	15	12	41
2	3	4	13	2	19	8	49
3	7	7	6	4	27	6	57
4	8	0	12	1	13	9	43
5	9	2	5	1	29	12	58

エ　幼児発達支援事業「おやこ（にこにこ）教室」

目　　的：発達面で気になる児の経過観察と保護者への育児支援を行い、この時期に必要な愛着形成や自己肯定感の確立を目指し、親子の健やかな成長を促す。

対　　象：1歳6か月児健診又は健康相談(おやこ相談、電話・来所相談)等で把握された次のような親子を対象とする。

① 発達面のフォローが必要と思われる親子

② 育児環境面で支援が必要と思われる親子

③ その他、保健師･心理職の判断により支援が必要と思われる親子

内　　容：手遊び、親子遊び、絵本、課題遊び等により、親子の成長が期待できるようなプログラムを検討し実施する。

スタッフ：心理職、保育士、保健師

実施状況：　　（単位：回・人）

区分 年度	実施回数	対象実人数	実施延人数
令和元	11	50	160
2	9	30	98
3	9	28	85
4	12	42	180
5	12	58	191

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和元年は1回、令和2、3年度は各3回中止した。

オ　こども発達センター（からあ）紹介状況

乳幼児期において、発達上早期療育が必要と思われる児や療育相談を希望する保護者などに、こども発達センター（からあ）を紹介している。

(ア)相談受理数　　（単位：人）

区分 年度	保健事業	経過観察後	家族から連絡	合計
令和元	46	37	9	92
2	36	54	7	97
3	48	53	2	103
4	58	63	7	128
5	52	33	4	89

(イ)結　　果　　（単位：人）

把握経路 相談結果	保健事業	経過観察後	家族から連絡	合計
異常を認めず	2	0	0	2
精神発達遅滞	14	12	4	30
自閉症及びその疑い	30	21	0	51
言語発達遅滞	3	0	0	3
構音障害	1	0	0	1
肢体不自由	0	0	0	0
ＡＤＨＤ及びその疑い	2	0	0	2
キャンセル	0	0	0	0
合計	52	33	4	89

※ 予約キャンセルケースには、保健師・心理職による経過観察・フォロー等を行っている。

カ　フッ化物利用推進事業

目　　的：幼児期からのむし歯予防(乳歯および永久歯の歯質の強化、初期むし歯の再石灰化の促進、歯垢中のむし歯原因菌の活動抑制を図ることにより、むし歯罹患リスクの減少)と自らの歯の健康意識の高揚を図る。

(ア)1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査におけるフッ化物歯面塗布

対　　象：1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査の受診者のうち保護者が希望する者

内　　容：フッ化物歯面塗布

スタッフ：歯科衛生士

実施状況：　　(単位：人・%)

区分／年度	1歳6か月児健康診査		3歳児健康診査	
	歯科健診受診数	塗布数	歯科健診受診数	塗布数
令和元	1,646	1,587(96.4)	1,766	1,589(90.0)
2	1,470	1,205(82.0)	1,489	1,038(69.7)
3	1,813	1,542(85.1)	1,815	1,345(74.1)
4	1,689	1,614(95.6)	1,746	1,548(88.7)
5	1,547	1,456(94.1)	1,791	1,588(88.7)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年6～9月、令和3年8～9月、令和4年1～3月は幼児健診時のフッ化物歯面塗布を中止した。中止期間中の健診受診者には、別日程を設け希望者に実施した。

(イ)フッ化物利用推進講座等（フッ化物利用推進講座、親子はみがき教室）

対　　象：保育園・幼稚園等在園の4、5歳児とその保護者

内　　容：むし歯予防・フッ化物利用推進のための講話、フッ化物洗口体験(フッ化物利用推進講座実施園)、歯垢染め出し体験（親子はみがき教室実施園)、ブラッシング指導、園歯科医師によるフッ化物利用推奨

スタッフ：園歯科医師、歯科衛生士

実施状況：　　(単位：園・回・人)

区分／年度	園　数	回　数	出席者		
			園児	保護者	合　計
令和元	46	46	1,345	1,255	2,600
2	10	10	383	373	756
3	28	28	1,021	505	1,526
4	33	33	612	616	1,228
5	37	38	864	806	1,670

(ウ)4歳、5歳児への集団的フッ化物洗口法(週5日法)

対　　象：フッ化物利用推進講座実施園に在園の4、5歳児のうち保護者が希望する者

内　　容：フッ化物利用推進講座を経て、フッ化物洗口法(週5日法)

実施状況：　　(単位：園・人)

区分／年度	園　数	実施者		
		4歳	5歳	合　計
令和元	27	157	902	1,059
2	9	154	460	614
3	17	109	607	716
4	10	119	422	541
5	10	106	425	531

（５）訪問指導

目　　的：乳幼児や保護者の健康状態を確認し、健やかな妊娠・出産・育児を支援する。
対　　象：妊産婦、乳幼児及び保護者
内　　容：保健師・助産師・看護師による家庭訪問
実施状況：　　（単位：人）

区分／年度	総　数	妊　婦	産　婦	乳　児	幼　児	その他※
令和元	4,784	14	1,687	2,175	518	390
2	4,495	5	1,656	1,899	451	484
3	4,206	13	1,718	1,762	349	364
4	3,940	4	1,636	1,730	342	228
5	3,841	10	1,520	1,581	330	400

※その他：父親・祖父母を含む

ア　乳児家庭全戸訪問事業

目　　的：生後 4 か月までの乳児がいるすべての家庭に訪問し、不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、母子の心身の状況や養育環境等の把握・助言を行い、支援が必要な家庭に対し、適切な支援を行う。
対　　象：生後 4 か月までのすべての乳児
内　　容：保健師・助産師・看護師による家庭訪問
実施状況：　　（単位：人・%）

区分／年度	対象者数	訪問数	実施率	新生児(再掲)
令和元	1,594	1,570	98.5	75
2	1,499	1,458	97.3	57
3	1,590	1,556	97.9	19
4	1,543	1,506	97.6	12
5	1,409	1,399	99.3	24

新生児：生後 28 日以内

イ　未熟児訪問指導(地域保健課・こども家庭課)

目　　的：未熟児は生理機能が未熟で疾病にかかりやすく、家庭環境に応じて適切な療育指導が必要になるため、児の健康状況の確認と保護者に対して育児支援を行う。
対　　象：養育医療の申請に係る未熟児で、未熟児訪問依頼票が提出された児及び保護者、その他の未熟児(出生通知書・医療機関等より把握した者)
内　　容：保健師・助産師による家庭訪問
実施状況：　　（単位：人）

区分／年度	対　象　数	訪　問　数	延べ訪問数
令和元	159	157	160
2	112	112	116
3	136	134	138
4	135	129	131
5	140	138	142

ウ　養育支援訪問事業

目　　的：乳幼児の養育について支援が必要と思われる家庭に対し、安定した乳幼児の養育が可能になるよう、訪問等による支援を行う。

対　　象：母子健康手帳交付時等に養育上の問題が予測され生活指導が必要と判断された家庭、育児不安や負担感が強い家庭、養育問題があり生活指導が必要と判断された家庭、他機関からの連絡があった家庭、医療的ケア児をもつ家庭等

内　　容：保健師・栄養士による家庭訪問等

実施状況：　　（単位：世帯・人・回）

年度	実世帯数	対象者		支援延べ回数
		乳幼児	妊婦	訪問(来所含む)
令和元	565	678	35	1,001
2	410	435	16	810
3	426	531	19	683
4	416	504	14	765
5	462	520	14	789

エ　乳幼児健康診査未受診者家庭訪問事業

目　　的：乳幼児健康診査未受診の家庭に訪問し、乳幼児の発育の確認を行うとともに、育児不安や育児困難の保護者への支援を実施する。

対　　象：保育園・幼稚園への通園が確認できない乳幼児健康診査未受診の家庭

内　　容：①予防接種・健診受診の勧奨
②乳幼児・保護者の心身の状況及び養育環境の把握
③育児に関する不安や悩みの相談
④関係機関との連絡調整

実施状況：　　（単位：人・％・件）

区分／健診・講座	対象者数（未受診者）	把握数					把握割合	未把握数		訪問件数	
		家庭訪問	電話相談	来所相談	受診	他機関		転出帰国	不在	日中	夜間
4か月児健診 6か月児講座	24	12	4	5	0	0	87.5	3	0	28	6
6か月児講座 10か月児健診	11	6	1	2	0	1	90.9	1	0	9	2
1歳6か月児健診	35	11	1	1	18	1	91.4	3	0	16	20
3歳児健診	41	10	2	0	23	2	90.2	4	0	33	16
合　計	111	39	8	8	41	4	90.1	11	0	86	44

オ　主任児童委員等による見守り活動

目　　的：母子保健事業において把握した育児不安を抱えている、支援者がおらず孤立しているなどサポートが必要な母子を主任児童委員や民生委員児童委員に紹介し、主任児童委員等は地域において母子への声かけや見守りなどを行う。

実施状況：　　（単位：人）

区分 年度	紹介人数
令和元	13
2	14
3	7
4	19
5	12

（６）あったか子育て応援講座

目　　的：安心して子育てができる地域づくりを推進していくため、富士市の子育て家庭に関心を持ち、挨拶や声かけを行うなど、子育て支援に参加する市民を増やす。

実施状況：　　（単位：団体・人）

区分 年度	団体数	受講者数
令和元	36	1,069
2	55	670
3	45	633
4	41	760
5	28	695

※令和元年度は「ふじのくに少子化突破戦略事業費県補助金」を利用し、子育てサポーター証とバッチを作成、受講者に配布した。

（７）地区における健康教育・相談事業

内　　容：保健師や管理栄養士が地区活動及び関係機関等から依頼を受け健康教育・相談を実施している。

実施状況：　　（単位：回・人）

区分 年度		健康相談	健康教育	健康教育内訳	
				食育講座	健康講座
令和元	回数	11	28	8	20
	延人数	153	951	459	492
2	回数	3	6	0	6
	延人数	44	55	0	55
3	回数	11	1	0	1
	延べ人数	71	5	0	5
4	回数	16	12	1	11
	延べ人数	213	213	9	204
5	回数	10	12	1	11
	延べ人数	144	226	12	214

（８）思春期保健

ア　思春期講座

目　　的：性に関する正しい知識を伝え、自己の性行動に責任をもたせることと、生命の尊さを伝え、自分及び他者を大切にする心を育てる。

対　　象：市内の中学校に通学する生徒

内　　容：各中学校と協働で実施

① 講話

② 教諭・保護者・保健師・思春期講座サポーター等による赤ちゃん人形抱っこ体験

スタッフ：保健師、教諭、保護者、思春期講座サポーター等

場　　所：各中学校

実施状況：　　(単位：回・校・人)

区分 年度	回　数	実施校数	参加者数				
			生徒	教諭	保護者	サポーター	その他
令和元	8	8	1,184	56	66	95	6
2	3	3	166	22	0	12	8
3	10	10	956	70	0	22	14
4	12	11	1,049	77	9	39	5
5	11	11	1,161	74	6	52	0

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度は２校、令和２年度は７校、令和３年度は１校中止した。

イ　思春期講座サポーター養成事業

目　　的：「思春期講座」に参加して生徒たちに赤ちゃん(人形)の抱っこ体験を指導し、命の大切さについて伝えていただく方を募集し、地域ぐるみで子育てを支援することを推進する。

実施状況：　　(単位：人)

区分 年度	実人数	事前学習会参加者数
令和元	201	36
2	135	22
3	124	18
4	71	22
5	52	34

（９）母子保健事業体系

令和５年度

各期	富　士　市
結婚	妊孕性と不妊治療についての周知 不妊・不育治療費補助事業
妊娠	母子健康手帳の交付・妊婦保健指導 はぐくむFUJI家事育児サポート事業 はぐくむFUJI出産・子育て応援事業 富士市内産科医療機関及び助産所等情報交換会 特定妊婦等の妊産婦事業に係るタクシー乗車料金助成 妊婦健康診査・多胎妊婦健康診査（医療機関等で実施・里帰り含む） 多胎妊婦交流会
新生児 乳児	妊産婦訪問指導 お母さんお父さん教室 母子栄養強化事業 新生児聴覚スクリーニング検査 産婦健康診査 産後ケア事業 新生児訪問指導 未熟児訪問指導 主任児童委員等による見守り活動 乳児家庭全戸訪問事業 あったか子育て応援事業 養育支援訪問事業 ４か月児健康診査（医療機関で実施） ４か月児健診虐待項目該当者への支援
幼児	６か月児すくすく赤ちゃん講座（ブックスタートふじ・富士ヒノキ製玩具贈呈事業） 離乳食講習会 乳幼児健診未受診児訪問 乳幼児訪問指導 10か月児健康診査（医療機関で実施） 子育て相談 乳幼児健康教育・健康相談 富士市要保護児童対策地域協議会実務者会議（こども家庭課） 子育てサークル支援事業 １歳６か月児健康診査 幼児発達支援事業 おやこ（にこにこ）教室 １歳６か月児精密健康診査（市内医療機関で実施） おやこ相談 ３歳児健康診査（セカンドブックふじ） こども発達センター 歯と口の健康週間事業 ３歳児精密健康診査（医療機関で実施） フッ化物利用推進事業
学童 思春期	思春期講座 思春期講座サポーター養成事業

医療機関紹介・早期療育事業との連携・妊産婦及び母子支援ネットワーク事業

産前産後サポート事業

プレパパママと先輩パパママ交流会

子育て総合相談センター（こども家庭課）

５　食育推進事業

食育とは
○生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの
○様々な体験を通じ、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること

（１）第３次富士山おむすび計画～富士市食育推進計画～

本計画は、国の「食育基本法」に基づき、「食」を大切にする心の欠如、栄養の偏り、肥満や生活習慣病の増加、「食」の安全上の問題等の食をめぐる現状に対処し、市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう、食育推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的に、平成29、30年度の2か年で策定したものである。

ア　計画の期間

令和元年度～令和5年度(5か年計画)

イ　計画の内容

本計画は、基本理念を「食で育む健全な心とからだ」と定め、その理念を達成するため、全市民を対象に以下の施策を推進していくこととしている。

＜基本方針と基本施策＞

食を通して心身の健康を育む	食を通して豊かな人間性を育む	食への理解を深める
○正しい食習慣の定着 ○栄養バランスの良い食生活の推進 ○食を通しての生活習慣病の予防・改善 ○食生活を維持するための歯と口の健康増進	○家族や仲間と楽しく食べる習慣の定着 ○食事作法の習得の推進 ○食文化の伝承	○環境への配慮 ○食の安全・安心確保 ○地産地消の推進 ○食育体験活動の推進

ウ　計画の実施

計画を効果的に推進するため、単年度ごとに実施計画を作成し、より具体的に施策を推進するとともに、全庁的な推進を図るため、地域保健課を中心に庁内組織である食育推進連絡会及び担当者部会を設置し、計画の総合的な推進を図る。

また、実施計画に位置づけられた各事業の達成状況を元に、食育推進会議において毎年進捗状況の検証及び評価を行っている。

（２）令和５年度食育推進事業

ア　会議

（単位：回）

市民会議	回数	庁内会議	回数
食育推進会議	3	食育推進連絡会	1
食育推進事業実行委員会	3	食育推進連絡会担当者部会	1
		食育推進計画策定委員会	1
		食育推進計画策定ワーキング会議	1

イ　食育推進計画ＰＲ事業

(ア)第 15 回富士山おむすび計画食育弁当コンテスト

目　　的：市民の食育への関心を高めるために、栄養バランスや地産地消に配慮した「食育弁当コンテスト」を開催した。

応募点数：3,897 点（応募人数：3,897 人）　市民投票数： 2,973 票

入　　賞：　（単位：点・校）

	賞	作品数
総合グランプリ	魚･大豆を食べま賞	1
グランプリ	バランスいいで賞	1
	地産地賞	1
	彩り賞	1
	野菜・海藻・きのこ賞	1
	キャラ弁賞	1
	金賞	6
	銀賞	24
	学校賞	1

(イ)食育啓発事業

下記イベント等で、富士山おむすび計画や食育の啓発・ＰＲ活動を行った。

実施状況：　（単位：人）

事　業　名	内　容	参加人数
食育月間ＰＲ展示	食育月間ＰＲ展示・食育弁当コンテスト作品展示	1,000
静岡ガス 食育フェスタ	野菜クイズ・抽選くじ・食育４コマ漫画の展示 食育パンフ配布	826
静岡ガス　夏のイベント　展示	食育４コマ漫画展示・食育パンフレット配布	200
エンジョイスポーツデー	血管年齢測定・体組成測・内転筋測定・栄養指導 食生活チェック	316
なんでも富士山 2024	食育クイズ（お茶の飲み当て）・抽選くじ・食育４コマ漫画の展示・食育啓発冊子配布	1,870
ふじ食プロジェクト（5 回）	園児･保護者への食育ぬり絵･食育パンフレット等の配布・食育 4 コマ漫画展示 等	3,178
合　計		7,390

ウ　その他食育事業

(ア)食育講演会

（単位：人）

内　容	参加人数・会場	講　師
「田子の浦のしらす」体験講座 (食育講話･漁船乗船体験･冷凍庫体験)	44 田子の浦漁協	田子の浦漁業協同組合 青年部

（イ）小中学生栄養調査

目　　的：食習慣質問票を用いて、調査時点の直近 1 か月の食事の内容を調査することにより、個人及び所属集団の栄養・健康状態を明らかにする。

実施状況：　（単位：人）

学校名	学　年	実施人数	結果説明
吉原小学校	6 年生	78	食生活講座（児童 84）
伝法小学校	6 年生	102	家庭への資料配布（児童 102）
鷹岡中学校	1 年生	120	食生活講座（生徒 135）
吉原第一中学校	1 年生	179	食生活講座（生徒 182）

（ウ）食育啓発講座等の開催

実　　績：48 回／年(参加者：1,849 人)

（エ）高校生の健康づくり支援事業

目　　的: 高校生のうちから自分の健康は自分で守る力を身につける、生徒を通した家族ぐるみでの健康的な食生活の意識向上を目的に、高校の文化祭等イベントでの普及啓発や食生活講座を実施する。

｛ア｝　文化祭等イベントでの健康づくり普及啓発

対　　象:富士市内高等学校

内　　容: 健康チェック、インボディ測定、骨密度測定、情報コーナー、栄養相談

スタッフ:栄養士、食生活推進員

実施状況：1 校 1 回　延べ 116 人

｛イ｝食生活講座の開催

対　　象:富士市内高等学校

内　　容:食事バランスについての講話、調理実習

スタッフ:栄養士、食生活推進員

実施状況: 4 校 4 回、延べ 172 人

（オ）食育推進地区事業

【鷹岡地区】　（単位：回・人）

事　業　名	内　容	回数	人数
食育アンケート	鷹岡地区全世帯に食育アンケートを実施	1	4,284
さくら祭りでの啓発	４コマ漫画展示・啓発冊子配布・豆つかみゲーム	1	141
サロンでの食育講座	健口くん測定・健康チェック表・とろみ剤の試食・嚥下についての講話	1	20
「田子の浦のしらす」体験学習（再掲）	食育講話・漁舟乗船体験・冷凍庫体験	1	44
文化祭での啓発	血圧測定・味覚チェック・お塩のとり方チェック	1	222
天王町サロンでのパッククッキング	パッククッキング、フレイル予防講座	1	15
お弁当写真展示	鷹岡小学校児童の作ったお弁当の写真をまちづくりセンターに展示	1	500
合　計		7	5,226

【天間地区】　（単位：回・人）

事　業　名	内　　容	回数	人数
食育アンケート	天間地区全世帯に食育アンケートを実施	1	2,413
お弁当の写真展示	天間小 6 年生が作ったお弁当の写真をまちづくりセンターに展示	1	500
小学生と稲作体験	田おこし･田植え･草取り･稲刈り･脱穀籾摺り･餅つき	6	233
地産地消汁もの作り	ウォーキングイベントにて地元野菜を使った汁物の提供	1	111
梅祭りでの啓発	野菜マシマシチェック表・野菜の花クイズ	1	126
合　計		10	3,383

（カ）食育推進校事業

【鷹岡小学校】　（単位：回・人）

事業名	内　　容	回数	人数
野菜栽培体験(2 年生)	サツマイモ栽培体験 収穫したサツマイモを使ってスイーツ作りを実施	5	321
作ってみよう！食育弁当♪(全学年)	夏休みの自由課題として、児童が食育弁当作りに挑戦する	1	70
牛乳出前授業(1 年生)	学乳生産者による、牧場･牛乳についての講話	3	81
みそ作り講座(6 年生)	みそ作り体験学習	3	84
お魚解体見学(5 年生)	鰤の解体見学、食育講話、試食	2	89
伝統的な和菓子出前授業(4 年生)	季節のねりきり作り･和菓子に関する講話	3	86
だしの出前授業(4 年生)	だしソムリエによるだしとり実演･講話･試飲	3	96
合　計		20	827

【天間小学校】 （単位：回・人）

事業名	内　　容	回数	人数
野菜栽培体験(2 年生・支援級)	なす・ピーマン・ミニトマト・きゅうり・枝豆・オクラの栽培体験	2	94
稲作体験(4～6 年生)	田おこし・田植え・草取り・稲刈り・餅つき・米販売	6	717
もち米を使った調理実習(5 年生)	いちご大福・おかき・お汁粉 作り	4	134
大豆栽培体験(3 年生)	大豆を栽培し、節分用の豆、稲作体験餅つき用のきな粉を作る	5	244
行事食の学習(3.4 年生)	月見団子、梅シロップ作り	2	99
お弁当のおかず作り(6 年生)	地元の食材を使って、お弁当のおかずを作る（しらす卵焼き・ほうれん草の乾物和え）	2	55
作ってみよう！食育弁当♪(全学年)	夏休みの自由課題として、児童が食育弁当を作る	1	58
お魚解体見学(2 年生)	鰤の解体見学、食育講話、試食	1	47
富士山ひらら給食献立考案(6 年生)	富士山ひららについて学習し、給食の献立を考案する。	1	55
だし出前授業(5 年生)	だしの講話、だしとり実演、混合だしの試飲 だしを使って、味噌汁作り	4	134
合　計		28	1,637

【鷹岡中学校】 （単位：回・人）

事業名	内　　容	回数	人数
野菜栽培体験(支援級)	サツマイモ・スナップエンドウ・絹さや・ブロッコリー・玉葱・じゃが芋を栽培	4	28
伝統的な和菓子出前授業(3 年生)	伝統的な和菓子に関する講話とねりきり作り体験	4	137
エコ・クッキング講座(1 年生)	エコ･クッキングナビゲーターによる講話・実演・試食	4	130
栄養調査結果説明(1 年生)	栄養調査結果説明と成長期の食生活に関する講話	4	135
合　計		16	430

（３）食生活推進員活動支援事業

目　　的：食生活推進員が行う食生活改善並びに食育に関する普及啓発活動を支援する。
内　　容：役員会、育成研修の実施。食生活推進員の活動を支援。
対 象 者：富士市食生活推進員会員 81 人
ブロック別食生活推進員会員数：　　（単位：人）

ブロック	地　　区	会員数
中部	吉原・伝法・今泉・青葉台・広見	17
北部	神戸・大淵・富士見台・吉永北・鷹岡・丘	11
東部	須津・浮島・元吉原・吉永・原田	16
南部	駅北１・駅北２・富士北・富士南・駅南・田子浦	18
西部	岩松北・岩松・富士川・松野・天間	19
合　計		81

ア　研　　修　　（単位：回・人）

区　　分	内　　容	回数	食推人数
総会	総会及び研修会「富士市の健康状況」	1	65
研修会	骨密度測定、食生活推進員の啓発事業の方法	3	66
	調理実習　骨を強くする食事	3	59
	調理実習　伝統的な和菓子・お茶の入れ方教室	3	66
	調理実習　健康クッキング新献立	3	66
	調理実習　食生活推進員会 20 周年記念献立　フレイル予防の食事	3	65
	第 4 次富士市食育推進計画　実績集計・まとめ	1	57
合　計		17	444

イ　活動状況　　（単位：回・人）

活　動　内　容		回数	一般参加数	食推人数
健康クッキング	小学生肉まん作り（事前準備含む）	27	288	138
地区活動	吉原工業高校文化祭（栄養相談等）	1	116	4
	吉原高校食生活講座（パッククッキング）	1	21	4
	富士市立高校食生活講座（パッククッキング）	1	17	4
	須津文化祭（食生活推進員紹介）	1	60	2
	富士東高校食生活講座（パッククッキング）	1	32	4
	食生活推進員活動紹介(ﾃﾚﾋﾞ静岡 ただいまﾃﾚﾋﾞ)	1	－	2
	たてぼりクラブ（フレイル予防啓発）	1	11	1
	富士川第一小学校児童クラブ（食育紙芝居）	1	50	3
	鷹岡文化祭(味覚ﾁｪｯｸ、お塩のとり方ﾁｪｯｸ)	1	222	4
	松野文化祭（野菜普及啓発）	1	30	1
	富士川文化祭（野菜普及啓発）	1	165	7
	東町福祉クラブ（減塩について）	1	25	1
	富士の里いきがいデイ（パッククッキング）	1	39	1
	岩松（味噌づくり）	1	20	1

活　動　内　容		回数	一般参加数	食推人数
全体活動	食育フェスタ（食育クイズ）	1	826	8
	食育推進校事業（お弁当のおかずづくり）	1	55	8
	食生活推進員養成講座	1	5	3
	富士市民エンジョイスポーツデー（食生活チェック）	1	74	5
	富士・富士宮食育ボランティア合同交流会	1	－	14
	地産地消の汁物作り（天間）	1	111	6
	食育推進校事業（さつまいもスイーツ作り）	1	107	6
	なんでも富士山 2024（お茶の飲み当てクイズ）	1	1,520	16
合計		49	3,794	243

ウ　活動に関する会議

（単位：回・人）

会議	回数	食推延べ人数
富士市食生活推進員役員会	6	74
富士市食育推進事業実行委員会	3	3
合計	9	77